No.30
2008年
（平成20年）

同窓会だより

発行
旭川荘厚生専門学院
同窓会
発行者
同窓会会長 中尾 絹江
発行年月日 平成20年8月1日
岡山市祇園地先
TEL (086) 275-0145
FAX (086) 275-3283

―母校の歴史はあなた 一人一人の足跡―

同窓会会長 中尾 絹江

会員の皆様お元気でしょうか。

母校が昭和四十六年に開校して以来、同窓生数八千人を超えました。学科の増設、吉井川キャンパスの増設と、一期生である私には想像の城を超えた発展ぶりです。と同時に、新たなる福祉の変遷へと身を置く学生の姿は美ましくも、励まされる思いです。

学院に入学したことで「旭川荘」の子ども達に出会い、「障害とは」「生きるとは」ということを真剣に向き合うことができました。またそのことは他校にない誇りとして、きっと多くの同窓生が感じたに違いありません。それは次代の学生に受け継がれ、八千人の時間が蓄積してこそ、今の学院の姿があるのです。

三十七年間の同窓生であるあなた。あなたの足跡が学院の歴史を刻んでいるのです。それと世界の一平和一も同じ事だと言えば大げさでしょうか。

十一月十五日、岡山支部・本部総会を合同で開催します。少しでも多くの皆さんのお顔を見せて下さい。お待ちしています。

今後の本学院のより発展に向けて、同窓生の皆様方の一層のご支援をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

学院も少子化・・・

学院長 藤田 哲輔

同窓生の皆様方には益々お元気でご活躍のことと拝察いたします。日頃から、本学院の教育推進につきましては大きなお力添えをいただいておりますことに心よりお礼申しあげます。

今年は二百十九名の新入生を迎え、全学生五百七十七名でスタートし、勉学、実習に励み、それぞれの目標に向かって努力しております。

ところで、本年度から介護福祉科夜間課程と医療福祉秘書科の2科が募集停止となり、児童福祉科、介護福祉科昼間課程、福祉研究科、第1看護科、第2看護科、精神保健福祉科の六科となりました。

定員数でいえば全学生八百三十名ですが、学院も他の大学等に漏れず、かなり大きく定員割れをしました。

しかし、国から平成二十三年度から介護福祉士として働く人の質を上げるための方策が出され、国家資格を養成校での統一試験から全面的に国家試験に変える方向が出されたことへの対応として、本学院では、今年度と来年度は夜間課程に介護技術講習会を十回程度行い、平成二十二年度からは介護福祉士資格取得の国家試験に向けてヘルパーとして仕事をしている人や介護助手の仕事を三年以上している人たちが介護福祉士資格を取るために行われる六百時間の勉強を夜間課程のコースに組み込んでいく計画をし、進めております。他の学科につきましても上級生共々、それぞれの目標に向かって努力いたしております。各科とも始めての実習を旭川荘内で体験し、人間的成長が見られはじめております。

また、岡山市西大寺の吉井川キャンパスも学院だけでなく、旭川荘の研修センターを始め、三世代交流センター、老人ホームなどいろいろと多くの施設もでき、近じかリハビリガーデンという施設の人や学生たちの軽スポーツの公園がオープンします。

旭川荘も五十周年記念の行事を昨年度で全てすませて、新しく創立百周年に向けての第一歩を踏み出しました。学院もそれにあわせて、新しい方向も取り入れていきたいと少子化の中での生き残り策を進めております。

最後に、今年の卒業生の就職状況ですが、おかげをもちまして医療・福祉・保育等の分野に一〇〇%決定し、元気に頑張ってくれております。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と感謝いたしております。

現在の学院の状況をご報告させていただきました。

岡山支部だより

盛夏の候

岡山支部長 西野 順子

同窓生の皆様、先生方お元気でお過ごしですか。本年度は、六年ぶりに学院外で、第七回岡山支部会を、本部合同で、チボリ公園で開催することになりました。

支部会も早二十年経過しました。成人です。岡山では、旭川荘はもちろんのこと厚生専門学院を知らない者はいません。又今年度は三代目新理事長に就任しました末光茂先生をお招きしてのご講演も予定致しております。

五十周年を迎え飛躍発展しました旭川荘・厚生専門学院へ、どうぞ足を運んで下さいませ。

昭和三十二年に三つの施設から、平成十八年には、七十一施設と増え現在も増えています。その間には、児童院・敬老園・寮育園・睦学園の工事もなされ大きく、きれいになりました。

同窓生の皆様や同窓会役員の方々には日々お世話になり本当にありがとうございます。

昨年（平成十九年）五月二十七日日曜日に西中島南方にあるコンソルトホテルにおいて第七回関西支部同窓会を皆様のご協力の元に開催することが出来ました事大変感謝申し上げます。参加人数は学院の玉置先生を含む十八名と少数でしたが和気あいあいと終了しました。

めまぐるしく変り行く医療の現場で皆創意工夫されながら利用者さんへ安全に快適な医療及び看護を提供されているのか、この会を通して何う事が出来ました。先人達の足跡に感謝しつつ現在に則した医療・看護の提供をしていく事の必要性等も同時に学ばせて頂く機会とさせてもらうのも同窓会等がきっかけでありますす。本年は本部の同窓会も予定されています。より多くの方の参加で情報交換の場となり、より親交を深めて頂けたら幸いに思います。最後に次回の関西支部同窓会は平成二十二年五月第四日曜日となっておりますので、次回は第七回以上の方の参加がある事を願っています。

追伸 保育の現場での情報交換もより多く出来るようになる事を望んでやみません。

関西支部だより

関西支部より

関西支部長 吉川千代子

吉井川キャンパスより

介護福祉科（昼間）

形態別介護技術の授業風景

2008.3.15
卒業証書授与式にて

今年の三月、年齢も出身地もバラバラでしたが、男女の仲もよく元気いっぱいの一九期生六十名を送り出しました。これからは同窓生の一員となり、介護現場の第一線で皆さんのご指導を頂きつつ、学院で学んだ知識・技術を活かして頑張ってくれると期待しています。

二十期生は、遂に平成生まれの年代に突入しました。遊びに寄られた際には、是非、後輩指導に参加してくださいね！

充実した介護実習・希望の就職ができるのも、卒業生の皆さんのお蔭と大変感謝しています。皆さんに続く専門職を目指して、科で盛り上げていきますので、今後とも宜しくお願いします。

介護福祉科（夜間）

介護福祉科夜間課程の卒業生の皆様、お元気にされていますか。それぞれのお立場でご活躍のことと思います。

さて、夜間課程では、今年三月に、三十名の卒業生（四期生）を送り出しました。それぞれに就職を決め、次のステージへの第一歩を踏み出す事ができたようです。実習や福祉研究では、多くの皆様に支えて頂き、本当に感謝しています。

体育大会

卒業研究発表会

平成二十年度、夜間課程は入学生の募集を停止していますので、今年度は一年生はおらず、二年生十名、三年生二十一名の合計三十一名でがんばっています。日中は職場で汗をかき、夜間は学業に励みながら介護福祉士を目指しています。そんな学生さんを見守りながら教員も教えられる事が多くあります。

また、今年度はこれまで日中行っていた介護技術講習会を夜間に開講しています。実際に現場で勤務されている方とも触れ合う機会をもつことができそうです。

最後に、卒業生の皆様、お体に気をつけて、学院にもぜひ遊びに来てください。

福祉研究科

学院祭
「ビリーズブートキャンプ＆銭太鼓」

「介護技術（安楽・安寧）」の授業風景

福祉研究科は昨年、男女共学になり、初の男子学生一名を含む二十七名が卒業し、現在二百三十一名おられる同窓生の皆様の仲間入りをすることができました。

平成二十一年度からは、介護を取り巻く状況の変化に対応すべく、介護福祉士養成のカリキュラムも変更されます。

福祉研究科においても、幅広い利用者に対して適切な介護が提供できる、理論と実践能力を兼ね備えた人材を育成すべく、教員一同一丸となってさらに教育に取り組んでいく必要性を痛感しています。

同窓生の皆様も、それぞれの立場でさらなる向上を目指し、ご活躍くださることを期待しています。

精神保健福祉科

演習室にて

学院祭「四葉祭」の一場面

卒業生の皆さん、お元気ですか？

精神保健福祉科は、十九年度二十二名の六期生が学院を巣立っていきました。四月には宿泊オリエンテーション、五月には体育大会、八月から十月にかけての現場実習、学院祭での活躍を経て、一月に国家試験を受験し、三月十五日に卒業式を迎えました。六期生は、元気が良く、とても明るいクラスでしたが、実習では、戸惑い、悩み、時には涙しながら、自己覚知を深めていったようです。

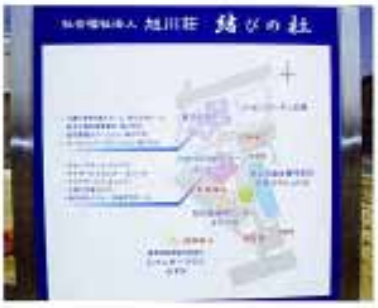
卒業生の皆さんが岡山県内外で活躍され、実習指導をしてくださるようになり、頼もしい姿を拝見するにつれ、われわれ教員はうれしい気持ちでいっぱいです。ぜひ、学院の卒業生の横と縦のつながりを大切にし、ますますお互いを高めあって欲しいと思います。

秋のP科合同交流会には、また皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

結びの杜

2008.2.26　桜の植樹式
岡山ロータリークラブより「ソメイヨシノ」
など桜の木10本が贈られました。

介護付き有料老人ホーム
「結びの杜ホーム」



「結びの杜」看板

旭川荘『結びの杜』に、「吉井川キャンパス」「研修センターよしい川」「三世代交流センター」に続き、「結びの杜ホーム」や「結びの杜カフェ」、「リハビリガーデン広場」、「手作りショップ」、「プレイングポーハウスきずな」が新たに加わりました。

また、記念植樹も行われ、緑豊かな環境になっています。

吉井川キャンパスの行事

4月 入学式

5月 体育大会

岡山ドームで両キャンパス合同の体育大会を行いました。
ムカデ競争、おっかけ玉入れなどチーム対抗で戦いました。

6月

7月 吉井川フェスタ

8月 豊学区夏祭り

西大寺地区のイベント「吉井川フェスタ」と「豊学区夏祭り」に参加しました。
ソバメシやフランクフルトなどの屋台を出して祭りを楽しみました。

9月

10月 学院祭

男装・女装コンテストやカラオケ大会、模擬店などで盛り上がりました。

11月

12月

1月

2月 卒業研究発表会

3月 卒業式・卒業パーティ

平成20年3月15日　アークホテル岡山にて「卒業パーティー」を開催しました。305名が参加し、各科の思い出の写真を集めてスライドショーを流すなど、この実行委員メンバーが頑張りました。

平成十九年度 卒業研究発表会

平成二十年二月二十日に、「卒業研究発表会」が研修センターよしい川で開催され、事例発表二十一題、福祉研究四題の発表がありました。

会場の様子

〈卒業生からのコメント〉

■西谷富海子さん■
一人の利用者の方を担当し、自分の気づきを援助に結びつけることの大切さを、改めて知ることができました。学生時代のこの体験を現場で活かし形にしていくと、もっと介護が良くなると感じました。

■沖中　純子さん■
社会に出てからも、学生の頃に養った感性・観察力をつぶさない様に、後輩指導をしていくことが、先に卒業した先輩の役目ではないかと思います。卒業生の皆さん！　後輩に負けない様に頑張りましょう！

右から　介護福祉科（夜間）
1期　佐々木さん
介護福祉科（昼間）
11期　西谷さん
1期　沖中さん
14期　福島さん

卒業生より

介護福祉科夜間課程　三期生
増田祐介

学院を卒業して、ちょうど一年が経ちました。先生方、三期生の皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか。私は現在、介護老人保健施設で働き始めて二年目を迎えました。

仕事を始めた当初は慣れない職場と仕事についていくのがやっとで、家に帰って倒れ込むという毎日でした。しかし、良き先輩方や同僚に恵まれ、利用者の方からの「ありがとう」という言葉に励まされながら、一年間頑張ってくることができました。これからも、利用者の方と笑顔で接することのできる介護職を目指していきたいと思います。

では、皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

福祉研究科　十一期生
藤井佳奈子

就職してから二年が経ちました。私は現在、特別養護老人ホームの現場職員として働いています。日々業務に追われながら、今思うことは学院での授業や施設実習のことです。現場に入り、業務をこなすことだけでなく、ご利用者の状態の把握、そして必要なニーズを見つけようとするステップに進めるまで時間がかかったように思います。そのステップに進んだ時、学院での授業や施設実習を思い出します。「今、学院生活に戻れたなら、もっと違う角度から勉強できたのに」と。テストを切り抜ける為の勉強でなく「興味」を持って何事にも望むこと、当たり前なことかもしれませんが、今になって意外と難しいことだと気づきました。興味を持って望む実習や授業は確実に吸収され、後に大きな力となるはずです。知識・技術はもちろん、実際に現場で働いて来られた先生方の下で、実践力ある素敵な介護福祉士になってください。

精神保健福祉科　四期生
朝倉吉宣

やりがいのカケラが少し見え始めた三年目のPSW。毎日、田圃にたつ建物へと向かう。そこは、地域生活支援センター、僕の職場だ。今日も様々な場所から、様々な人達がやってくる。年齢も性別も思いも環境も…それぞれみんな違う。僕は来る日も来る日も、そのひとつひとつの相談に耳を傾ける。そして、一緒に考えて、一緒に笑って、一緒に怒って、時々ひとりで真剣に悩んで。そんな毎日の僕にも、最近少し見えてきた大切なコトがある。

「一緒にすることが僕のやりがい。」だから僕はこれからも変わらず一緒に過ごして行こうと思っている。

クルーフホームよしい川の看板犬「ヨッシー」！

ちょっとだけ引越しました。元気でやってます。

旭川キャンパスより

看護科

「まなびピア岡山」
旭川荘ブースに
大繁盛でした

※これが噂の岡山ドーム

旭川・吉井川合同の体育祭！
まずは準備運動から　1.2.3…

サマースクール名物（？）
看護科ファッションショー

毎年夏にはサマースクール
（看護学校一日入学）

入学希望者大募集！
卒業生のみなさん、よろしくね

あの日の感動は忘れない「戴帽式」我はここに集いたる人々の前に…

秋のイベントは、何といっても
学校祭。
看護科教員の愛情タップリ
行列のできるたこ焼き屋

第一看護科　二十期生　祖田奈知

学院を卒業し、早いもので八年経ちました。現在、私は地元大分県で助産師として元気に働いています。

学院卒業後は、川崎医科大学付属川崎病院の外科病棟、大分大学病院手術部で看護師として経験を積みました。"看護師として働く中で、もっと勉強したい！大学へ行きたい！"と思うようになり、二十六才で福岡県立大学へ三年次編入をし、保健師・助産師の免許を取得しました。

私は、"助産師という仕事が大好きです。毎日、妊産婦、褥婦さん、ベビーに元気をもらい仕事をしています。"仕事で悩んだり、苦しかったり！と思い悩むこともありますが、この事態が起きている事に感謝し、これをどうやって自分の糧にできるだろうかと考え、いつも前向きに頑張っています。そして将来は、一人一人に寄り添った、自然なお産のお手伝いができる助産師になりたいと思います。

第二看護科　三十期生　原田恵美子

初秋の候、皆様いかがお過ごしですか。

私が学院を卒業し、川崎医科大学附属病院に就職してもう6年が経ちます。就職してすぐの頃は仕事を覚えることに精一杯で自分の看護と向き合うゆとりがなく、自分のやりたい看護が分からなくなり悩んだこともありました。

しかし、呼吸器・循環器センターの病棟で癌患者様と関わる中で、徐々に自分のやりたい看護が明確になってきました。終末期の癌患者様の苦しみを少しでも和らげるサポートがしたいと思い、現在緩和ケアについて勉強をしています。

"看護という職業を仕事として選んだのではなく、生き方として選んだのだと思いなさい"これは、マザーテレサの言葉です。仕事は忙しく何度も挫けそうになりましたが、患者様からの感謝の言葉や温かい気持ちに支えられてここまでくることができました。看護師という生き方を選んだ自分に誇りをもって、精進していきたいと思います。

チャレンジ!!
第97回看護師国家試験問題（一般）

（問題 25）感染性医療廃棄物の廃棄容器に表示するマークの形はどれか。

1.　2.　3.　4.

（問題 99）ホルター心電図検査の説明で適切なのはどれか。

1.「普段どおり入浴できます」
2.「性生活の制限はありません」
3.「胸部に12個電極を貼ります」
4.「皮膚に違和感があれば電源を貼り替えてください」

〈看護師国家試験　試験問題募集しています〉

看護基礎教育では
「看護師に必須の技術項目と卒業時到達速度を明確化」
するため看護技術力のUP！を目指しています。
卒業前の技術試験で真剣な最高学年!!

厚生労働省からの通達

児童福祉科

現場に強い児童福祉科
～新規受託事業にチャレンジ～

「夢づくり推進賞」授賞式

平成二十年五月三十日、岡山県備前県民局から「夢づくり推進賞」を受賞しました。これは、昨年児童福祉科が結成したボランティアサークル「あそぼう屋」が、地域で子育てをしている親子を対象にして、日頃学習している手遊びやオペレッタを演じて交流を図る地域受託事業の活動を高く評価されたものです。学生自ら準備や企画をする学生主導の活動で、今年も西大寺や和気町、吉永町等の子育て広場へ児童福祉科全員が出掛けて行きます。地域では子育て中のお母さん方との対話や子どもたちとの遊びを通して、保育実習だけでは得られない体験もでき、みんな逞しい保育士へと成長しています。

また、昨年から男性保育士の入学が可能になり、現在五名の学生が頑張っています。ピアノ演奏、身体表現、離乳食づくりにも積極的に挑戦し、歌って踊れる保育士の誕生も間近になりました。近年入学者数も少なくなってきましたが、「〇〇期生卒にお母さん、お姉さんがいます。」の声を聞くと、学院の伝統と保育に対する強い意志が今も引き継がれていることを嬉しく思います。今も多くの先輩達と共に歩んでいる児童福祉科を今後ともよろしくお願いします。

あそぼう屋

医療秘書科

医療福祉秘書科（旧：福祉情報科）二年生が学院外で実践を通して学ぶ臨地実習は、毎週水曜日にふれあいセンターで行う障害者PC講座支援、六月の病院実習、十二月の福祉実習です。

今年も、教員としてはドキドキハラハラの病院実習が無事終了しました。七カ所（岡山紀念、岡山赤十字、川崎、旭東、済生会、しげい、竜操整形）の病院に大変お世話になりましたが、そのうち五カ所の実習病院で、先輩（卒業生）が活躍中なのです。

実習巡回などに行くと、頑張っている卒業生にもお会いすることができます。

そこで、これもご縁！と、今回は実際に病院実習で後輩をご指導してくださった先輩にご自身の近況と感想などのメッセージをいただきましたのでご紹介いたします。

岡山旭東病院で勤務されている二期生の林淳子さんです。

福祉情報科
（現：医療福祉秘書科）二期生
林　淳子

医療情勢は年々変化し、病院における機能分化が徐々に進んできました。学院も時代と共に変化し発展していらっしゃることと存じます。

旭川荘厚生専門学院福祉情報科を卒業して早いもので十五年が経過致しました。今年で十六年目に入り、現在も医療事務として病院に勤務しております。医療事務としての病院　中での役割は、病院の経営理念や方針を理解し、主に病院の顔である受付業務、病院の収入源である請求業務があげられます。私は卒業生として学院で学んだことを活かしながら、自分の役割である業務を日々行っています。

学院の実習生は、他の学校の実習生以上に、実習に望む時の姿勢がとても良く、接遇面を含め、スタッフから評判が良い生徒さんばかりで、私は学院の卒業生として誇らしく思える時ありで、楽しい実習期間でした。ほんとによく勉強されていて、積極的に学ぼうとする姿勢はいつも感心させられます。人に何かを教えるということで指導する側も勉強になり、とても刺激になります。社会人として、先輩として、後輩の皆さんに今後役に立てれば、またなにか自信に繋がればと思いながら、他スタッフと共に実習させていただきました。

今後も皆さんが、各職場の顔としてご活躍されることを楽しみにしております。ありがとうございました。

実習中の学生は不安が一杯ですが、優しく接して下さったことで学生の励みや目標となったようです。なにより先輩の笑顔に助けられたそうです。こちらこそ、ありがとうございました!!

臨地実習の様子

人事異動

☆退職された先生
矢内　淑子（H十八・十二月）
前崎　茂子（H十九・三月）
本間　雅子　〃　〃
足立　香織　〃　〃
池本　佐枝　〃　〃
山本　浩子　〃（H十九・十月）
磯山　真理　〃（H二十・三月）
笹部　完二　〃　〃
藤原　幸夫　〃　〃
井上　理絵　〃　〃
黒田とも子　〃　〃

☆新任の先生
成田　典子（H十九・四月）
内田　裕子　〃　〃
吉見　美保　〃（H二十・四月）
岡本　禮子　〃　〃
山本　晃代　〃　〃
田中いずみ　〃　〃
木下　幸美　〃　〃
荒田　弘倫　〃（H二十・五月）

☆荘内異動された先生
赤澤　美枝　⇒　旭川療育園
出口　隆一　⇒　旭川学園
松井由美子　⇒　竜ノ口寮
堀　　晶華　⇒　旭川敬老園

主な年間行事

☆キャンドルサービス（十月八日）
☆戴帽式（十月十日）
☆学院祭（十月二十四日・二十五日）
☆卒業演奏会（三月四日）
☆卒業証書授与式（三月十三日）
実施日については、変更となる場合があります。

第22回 同窓会総会のご案内

開催日時　平成20年11月22日(土)
10：00～10：40　総　会
11：00～12：00　記念講演（末光　茂 理事長）
12：00～14：00　懇 親 会
場　　所　倉敷チボリ公園
会　　費　3,000円（入場料込み）

出席可能な場合は、**10月31日㈮**までに、TEL・FAX・E−mailにてご連絡ください。

TEL (086) 275−0145
FAX (086) 275−3283
E−mail　g-dousoukai@asahigawasou.or.jp　学院同窓会担当まで

HPリニューアルしました。

学院のホームページもリニューアルしました。

学院ＨＰ　http://asahigawasou.or.jp/gakuin/index.htm/

『卒業生の方へ』をクリックいただくと各種証明書がご請求いただけます。また、同窓会につきましてご意見・ご感想がありましたらお気軽にメールください。もちろん皆様の近況報告もお待ちしております。

同窓会事務局　g-dousoukai@asahigawasou.or.jp

入 試 情 報

受験生のアンケートの中で『親・兄弟・親戚が卒業生である。』という学生さんが結構いらっしゃいます。ありがたいことです。お知り合いの方がいましたらどうぞよろしくお願いいたします。

卒業生さんの合格枠もありますので、ぜひご検討ください。

児童福祉科・第１看護科・第２看護科
介護福祉科・福祉研究科・精神保健福祉科

◎推薦入試　10月17日㈮　　◎一般１次　1月30日㈮
◎一般２次　3月 7日㈯　　◎一般３次　3月24日㈫

推薦・一般１次はアークホテル岡山にて、一般２次・３次は旭川キャンパスにて行われます。
入試事務室　TEL (086) 275−6846
E−mail　nyuusisitu@asahigawasou.or.jp

同 窓 会 員 数

平成20年3月現在（平成19年・平成20年の卒業生）

同窓生総数	8044名	(637名)
保育科・児童福祉科	1488名	(68名)
福祉情報科・医療福祉秘書科	326名	(44名)
第１看護科	2343名	(170名)
第２看護科	2045名	(97名)
福祉科・介護福祉科	1428名	(175名)
福祉研究科	249名	(39名)
精神保健福祉科	165名	(44名)